



## 平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 インフォマート

コード番号 2492 URL <http://www.infomart.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 村上 勝照

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 藤田 尚武

TEL 03-5777-1710

四半期報告書提出予定日 平成25年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	1,005	14.9	247	57.3	253	58.8	155	69.0
24年12月期第1四半期	875	12.3	157	19.9	159	20.6	91	26.0

(注) 包括利益 25年12月期第1四半期 136百万円 (83.9%) 24年12月期第1四半期 74百万円 (38.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	21.48	20.76
24年12月期第1四半期	12.85	12.43

当社は、平成25年1月1日付けで普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第1四半期	4,618	2,920	63.0
24年12月期	4,657	2,889	61.5

(参考) 自己資本 25年12月期第1四半期 2,910百万円 24年12月期 2,866百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	2,925.00	—	2,925.00	5,850.00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	21.12	—	10.57	31.69

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は、平成25年1月1日付けで普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。また、本日(平成25年4月30日)公表しました「株式分割、定款の一部変更及び配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり、平成25年7月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施する予定であります。これに伴い、平成25年12月期(予想)の配当予想については当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

### 3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,057	14.7	413	24.8	408	24.4	245	36.1	16.95
通期	4,388	16.0	997	22.3	988	21.2	594	19.8	40.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年1月1日付けで普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。また、本日(平成25年4月30日)公表しました「株式分割、定款の一部変更及び配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり、平成25年7月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施する予定であります。これに伴い、1株当たり当期純利益金額については当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期1Q	7,276,000 株	24年12月期	7,276,000 株
25年12月期1Q	49,000 株	24年12月期	49,000 株
25年12月期1Q	7,227,000 株	24年12月期1Q	7,149,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は、平成25年1月1日付けで普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。また、本日(平成25年4月30日)公表しました「株式分割、定款の一部変更及び配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり、平成25年7月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施する予定であります。これに伴い、業績予想の1株当たり当期純利益金額については当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) セグメント情報等 .....	10
(7) 重要な後発事象 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成25年1月1日～3月31日）における我が国の経済は、安倍政権の経済政策への期待、海外景気の持ち直しから円安・株高が進む中で、企業心理、消費者マインドが改善、また、輸出が回復の兆候を示し、国内景気は回復に向けた動きとなりました。

当社グループが主に事業を展開する国内のBtoB（企業間電子商取引）市場は、平成23年のインターネットによる企業間電子商取引が前年比1.7%増の171兆円、全ての商取引に対する電子商取引の割合であるEC化率が前年比0.5ポイント増の16.1%と、着実に拡大が進んでおります。（経済産業省「平成23年度我が国情報経済社会における基盤整備（電子商取引に関する市場調査）」）

このような環境下において、当社グループは当第1四半期連結累計期間におきまして、「ASP受発注システム」、「ASP規格書システム」、「ASP商談システム」、「ASP受注・営業システム」の利用拡大によるフード業界BtoBの強化、子会社による「クラウドサービス事業」、「海外事業」の推進を行いました。また、システム開発では、今後の成長へ向けた「BtoB&クラウドプラットフォーム（次世代プラットフォーム）」の構築及び一部をリリースいたしました。

その結果、「ASP受発注システム」等の順調な利用拡大により、当第1四半期連結会計期間末（平成25年3月末）の「FOODS Info Mart」利用企業数（海外事業を除く）は、前連結会計年度末比512社増の31,991社（売り手企業：同486社増の25,261社、買い手企業：同26社増の6,730社）となりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、「ASP受発注システム」、「ASP規格書システム」を始め、各システムの国内での利用拡大によりシステム使用料が増加し、1,005,963千円と前年同期比130,216千円（14.9%）の増加となりました。

利益面は、売上高の増加がシステム関連費用（ソフトウェア償却費、データセンター費）、人件費、販促費等の増加を吸収し、営業利益は247,164千円と前年同期比90,065千円（57.3%）の増加、経常利益は253,189千円と前年同期比93,736千円（58.8%）の増加、四半期純利益は155,238千円と前年同期比63,382千円（69.0%）の増加となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### i. ASP受発注事業

「ASP受発注システム」は、外食チェーン、給食会社、ホテル等の買い手新規稼動が順調に進み、買い手店舗数、売り手企業数が増加いたしました。また、直営業に加え、アライアンスパートナー（売り手企業・システム会社等）からの紹介による新規案件も継続的に発生いたしました。その結果、当第1四半期連結会計期間末の買い手企業の稼動社数は1,123社（前連結会計年度末比41社増）（注）、買い手企業の利用店舗数は24,028店舗（同975店舗増）、売り手企業数は22,242社（同400社増）（注）、当第1四半期連結累計期間のASP受発注取引高は1,860億円（前年同期比15.9%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間の「ASP受発注事業」の売上高は613,346千円と前年同期比65,187千円（11.9%）の増加、営業利益は292,299千円と前年同期比14,304千円（5.1%）の増加となりました。

#### ii. ASP規格書事業

「ASP規格書システム」は、食の安全・安心をサポートする「商品規格書」データベースシステムとして、メーカー、卸会社、買い手企業における自社システムでの利用及びそれぞれの取引先との利用を推進いたしました。また、新システム「ASPメニュー管理システム」の提供を開始いたしました。その結果、当第1四半期連結会計期間末の買い手機能は164社（前連結会計年度末比5社増）（注）、卸機能は225社（同3社増）（注）、メーカー機能は4,530社（同84社増）（注）となりました。

当第1四半期連結累計期間の「ASP規格書事業」の売上高は131,100千円と前年同期比28,153千円（27.3%）の増加、営業利益は11,785千円と前年同期比7,355千円（166.0%）の増加となりました。

#### iii. ASP商談事業

「ASP商談システム」の売り手企業はセミナーによる新規数の増加により純増が継続いたしました。また、買い手企業は初年度無料キャンペーンが昨年末で終了したことにより新規数が減少いたしました。また、解約数の低減で純増を維持いたしました。その結果、当第1四半期連結会計期間末の売り手企業数は2,091社（前連結会計年度末比67社増）、買い手企業数は6,567社（同27社増）（注）となりました。

当第1四半期連結累計期間の「ASP商談事業」の売上高は171,832千円と前年同期比10,654千円（6.6%）の増加、営業利益は16,869千円（前年同期は営業損失2,504千円）となりました。

## iv. ASP受注・営業事業

「ASP受注・営業システム」は、卸会社とその取引先店舗（主に個店等）の新規稼働及び利用拡大を推進いたしました。また、美容業界向け「BEAUTY Info Mart（ビューティインフォマート）」、医療業界向け「MEDICAL Info Mart（メディカルインフォマート）」の実績作りを行いました。その結果、当第1四半期連結会計期間末の受注卸社数は156社（前連結会計年度末比6社増）、発注店舗数は18,828店舗（同882店舗増）となりました。

当第1四半期連結累計期間の「ASP受注・営業事業」の売上高は72,748千円と前年同期比15,839千円(27.8%)の増加、利益面は、ソフトウェア償却費、人件費等の経費により、営業損失38,634千円（前年同期は営業損失74,996千円）となりました。

## v. クラウドサービス事業

「Foods Info Rise 販促支援システム」のメーカー利用の増加、メニュー（レシピ）開発サービスを推進いたしました。その結果、当第1四半期連結会計期間末の食品メーカー利用社数は117社（前連結会計年度末比17社増）、卸会社利用社数は159社（同1社増）となりました。

当第1四半期連結累計期間の「クラウドサービス事業」の売上高は17,446千円と前年同期比9,816千円(128.7%)の増加、利益面は、システム関連費用及び人件費等の経費により営業損失12,745千円（前年同期は営業損失23,516千円）となりました。

## vi. 海外事業

中国のグループ会社を中心に北京・上海を拠点として「SaaSシステム」の新規営業、稼働を推進いたしました。当第1四半期連結会計期間末の中国での「SaaSシステム」の利用企業数は、一定の発注店舗数、システム取引高の実績はあるものの、解約が発生したことから、13社（前連結会計年度末比7社減）となりました。

当第1四半期連結累計期間の「海外事業」の売上高は3,816千円と前年同期比3,388千円(790.4%)の増加、利益面は、システム関連費用及び人件費等の経費により営業損失は22,875千円（前年同期は営業損失24,390千円）となりました。

（注）セグメント別の利用企業数は、システムを利用する利用企業数の全体数を表示しております。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①財政状態

当第1四半期連結会計期間末（平成25年3月末）の総資産は、4,618,397千円（前連結会計年度末比38,945千円減）となりました。

流動資産は、1,396,143千円（前連結会計年度末比168,092千円減）となりました。主な減少要因は現金及び預金が188,398千円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、3,222,254千円（前連結会計年度末比129,146千円増）となりました。主な増加要因はソフトウェア仮勘定が240,849千円増加したことなどによるものであり、主な減少要因はソフトウェアが136,599千円減少したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末（平成25年3月末）の負債合計は、1,697,851千円（前連結会計年度末比69,614千円減）となりました。

流動負債は、1,470,424千円（前連結会計年度末比2,339千円増）となりました。主な増加要因は未払金が28,797千円増加、賞与引当金が66,673千円増加したことなどによるものであり、主な減少要因は未払法人税等が103,317千円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、227,427千円（前連結会計年度末比71,954千円減）となりました。主な減少要因は長期借入金72,000千円減少したことなどによるものであります。

純資産は、2,920,546千円（前連結会計年度末比30,669千円増）となりました。主な増加要因は利益剰余金が49,543千円増加（配当105,694千円を実施した一方で、四半期純利益155,238千円を計上）したことなどによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」）の期末残高は、前連結会計年度末に比べ188,398千円減少し、395,162千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、293,671千円（前年同期は237,048千円の収入）となりました。主な収入は、税金等調整前四半期純利益253,189千円、減価償却費230,927千円等であり、主な支出は、法人税等の支払額256,827千円等であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、322,283千円（前年同期は267,115千円の支出）となりました。主な支出は、「FOODS Info Mart」等システム開発に伴う無形固定資産の取得による支出320,041千円等であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、160,867千円（前年同期は114,513千円の支出）となりました。主な支出は、配当金の支払額88,867千円、長期借入金の返済による支出72,000千円によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、当連結会計年度（平成25年1月1日～12月31日）におきまして、引き続き、「ASP受発注システム」、「ASP規格書システム」、「ASP商談システム」、「ASP受注・営業システム」の利用拡大によるフード業界BtoBの強化、美容業界向け「BEAUTY Info Mart」・医療業界向け「MEDICAL Info Mart」の利用拡大による他業界BtoBの展開を推進し、戦略子会社による「クラウドサービス事業」、「海外事業」の収益化を図ってまいります。また、今後の成長へ向けた「世界のあらゆる言語で、あらゆる業界で展開できるBtoB&クラウドプラットフォーム（次世代プラットフォーム）」の構築及び始動に取り組んでまいります。

当連結会計年度の第2四半期連結累計期間及び通期の見通しにつきましては、次のとおりであります。

## (i) 第2四半期連結累計期間の見通し

第2四半期連結累計期間につきましては、各システムの利用拡大に伴いシステム使用料が増加することから、売上高は2,057百万円（前連結会計年度比14.7%増）となる見通しです。

利益面につきましては、売上高の増加が「次世代プラットフォーム」の構築、リリースによるソフトウェア償却費の増加、人件費・販促費の増加等を吸収し、営業利益は413百万円（同24.8%増）、経常利益は408百万円（同24.4%増）、第2四半期連結累計期間純利益は245百万円（同36.1%増）となる見通しです。

## (ii) 通期の見通し

通期につきましては、さらに各システムの利用拡大によりシステム使用料が増加することから、売上高は4,388百万円（前連結会計年度比16.0%増）となる見通しです。

利益面につきましては、売上高の増加が上記の費用の増加を吸収し、営業利益は997百万円（同22.3%増）、経常利益は988百万円（同21.2%増）、当期純利益は594百万円（同19.8%増）となる見通しです。

上記連結業績予想は、前回公表（平成25年2月14日発表）から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	583,561	395,162
売掛金	886,447	872,836
貯蔵品	2,088	1,995
繰延税金資産	70,315	94,129
その他	30,995	42,890
貸倒引当金	△9,171	△10,872
流動資産合計	1,564,235	1,396,143
固定資産		
有形固定資産		
建物	55,158	55,158
減価償却累計額	△32,964	△34,174
建物(純額)	22,193	20,984
工具、器具及び備品	128,461	129,778
減価償却累計額	△100,077	△103,674
工具、器具及び備品(純額)	28,384	26,104
有形固定資産合計	50,578	47,088
無形固定資産		
ソフトウェア	1,186,259	1,049,659
ソフトウェア仮勘定	1,639,825	1,880,674
その他	14,386	14,474
無形固定資産合計	2,840,471	2,944,809
投資その他の資産		
投資有価証券	30,000	30,000
繰延税金資産	108,158	136,142
その他	63,899	64,213
投資その他の資産合計	202,057	230,356
固定資産合計	3,093,107	3,222,254
資産合計	4,657,342	4,618,397

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	148,226	130,694
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	288,000	288,000
未払金	129,674	158,472
未払法人税等	249,975	146,657
賞与引当金	43,957	110,631
その他	208,251	235,968
流動負債合計	1,468,084	1,470,424
固定負債		
長期借入金	288,000	216,000
資産除去債務	11,381	11,427
固定負債合計	299,381	227,427
負債合計	1,767,466	1,697,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,001,200	1,001,200
資本剰余金	437,975	437,975
利益剰余金	1,494,160	1,543,704
自己株式	△34,616	△34,616
株主資本合計	2,898,719	2,948,262
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△32,548	△37,656
その他の包括利益累計額合計	△32,548	△37,656
少数株主持分	23,705	9,939
純資産合計	2,889,876	2,920,546
負債純資産合計	4,657,342	4,618,397

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
売上高	875,746	1,005,963
売上原価	317,261	327,040
売上総利益	558,485	678,923
販売費及び一般管理費	401,385	431,758
営業利益	157,099	247,164
営業外収益		
受取利息	48	19
為替差益	4,446	8,138
その他	4	—
営業外収益合計	4,499	8,157
営業外費用		
支払利息	2,145	2,132
営業外費用合計	2,145	2,132
経常利益	159,453	253,189
特別損失		
固定資産除却損	44	—
特別損失合計	44	—
税金等調整前四半期純利益	159,409	253,189
法人税、住民税及び事業税	130,779	160,962
法人税等調整額	△44,999	△51,799
法人税等合計	85,779	109,163
少数株主損益調整前四半期純利益	73,629	144,026
少数株主損失(△)	△18,227	△11,211
四半期純利益	91,856	155,238

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	73,629	144,026
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	512	△7,662
その他の包括利益合計	512	△7,662
四半期包括利益	74,141	136,364
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	92,197	150,130
少数株主に係る四半期包括利益	△18,056	△13,765

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	159,409	253,189
減価償却費	231,084	230,927
のれん償却額	5,006	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	28	1,700
賞与引当金の増減額(△は減少)	63,506	66,673
受取利息及び受取配当金	△48	△19
支払利息	2,145	2,132
為替差損益(△は益)	△4,446	△8,138
固定資産除却損	44	—
売上債権の増減額(△は増加)	34,266	13,658
仕入債務の増減額(△は減少)	△38,199	△17,531
その他	△13,044	10,294
小計	439,752	552,887
利息及び配当金の受取額	46	18
利息の支払額	△1,948	△2,407
法人税等の支払額	△200,801	△256,827
営業活動によるキャッシュ・フロー	237,048	293,671
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,588	△2,036
無形固定資産の取得による支出	△270,602	△320,041
その他	6,075	△205
投資活動によるキャッシュ・フロー	△267,115	△322,283
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	—	△72,000
配当金の支払額	△114,513	△88,867
財務活動によるキャッシュ・フロー	△114,513	△160,867
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,648	1,080
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△141,931	△188,398
現金及び現金同等物の期首残高	1,019,667	583,561
現金及び現金同等物の四半期末残高	877,736	395,162

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (6) セグメント情報等

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ASP 受発注事業	ASP 規格書事業	ASP 商談事業	ASP 受注・営業 事業	クラウド サービス 事業	海外事業	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	548,154	102,947	161,177	55,408	7,629	428	875,746	—	875,746
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4	—	—	1,500	—	—	1,504	△1,504	—
計	548,158	102,947	161,177	56,908	7,629	428	877,251	△1,504	875,746
セグメント利益 又は損失(△)	277,995	4,430	△2,504	△74,996	△23,516	△24,390	157,018	81	157,099

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の81千円は、セグメント間の債権債務消去に係る為替差損益81千円でありま  
す。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ASP 受発注事業	ASP 規格書事業	ASP 商談事業	ASP 受注・営業 事業	クラウド サービス 事業	海外事業	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	613,343	131,100	171,832	72,148	16,996	542	1,005,963	—	1,005,963
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2	—	—	600	450	3,274	4,327	△4,327	—
計	613,346	131,100	171,832	72,748	17,446	3,816	1,010,290	△4,327	1,005,963
セグメント利益 又は損失(△)	292,299	11,785	16,869	△38,634	△12,745	△22,875	246,698	466	247,164

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の466千円は、セグメント間取引消去等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (7) 重要な後発事象

## 株式分割及び定款の一部変更

平成25年4月30日付取締役会決議により、株式分割及び定款の一部変更について決定いたしました。

## (1) 株式分割及び定款の一部変更の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げ、株式の流動性を高め、投資家層の拡大を図ることを目的としております。

## (2) 株式分割の概要

## ① 分割の方法

平成25年6月30日を基準日（同日は株主名簿管理人の休業日につき、実質上の基準日は同年6月28日（金曜日）として、同日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式1株につき2株の割合をもって分割いたします。

## ② 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	7,276,000株
今回の分割により増加する株式数	7,276,000株
株式分割後の発行済株式総数	14,552,000株
株式分割後の発行可能株式総数	45,088,000株

（注）上記発行済株式数は、新株予約権の行使により増加する可能性があります。

## ③ 分割の日程

基準日の公告日	平成25年6月14日
基準日	平成25年6月30日
効力発生日	平成25年7月1日

## (3) 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下の通りとなります。

前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	
1株当たり四半期純利益金額	6円42銭	1株当たり四半期純利益金額	10円74銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	6円21銭	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	10円38銭